

# 2017年6月の予定表

多摩川あゆ工房

日	月	火	水	木	金	土
				1 ウォーキング	2 ウォーキング	3
4 ふくしまつり 出店	5 ウォーキング	6 療育音楽 ウォーキング	7 地域清掃	8 ウォーキング	9 ウォーキング	10 夢花感謝祭出店
11	12 ウォーキング	13 療育音楽 ウォーキング	14 久力さん音楽 健康診断	15 健美操 ウォーキング 看護師来訪	16 三船先生ダンス ウォーキング 嘱託医来訪	17
18 ふれあいまつり 開催日	19 ウォーキング	20 療育音楽 ウォーキング	21 地域清掃	22 ウォーキング	23 石河原公園販売会	24 生田緑地ピクニック クデー出店
25	26 ウォーキング	27 療育音楽 パサージュたま	28 久力さん音楽 健康診断	29 ウォーキング	30 ウォーキング	

平成29年6月16日

# あゆだより

多摩川あゆ工房

6月号

目次

1. 表紙
- 2-3. 施設長の挨拶
4. 土曜開催日の様子
5. おひさま春まつりの出店
6. 新人職員の紹介  
グループホームわさびⅡの紹介
7. 内作業班の紹介
8. 6月の予定  
あゆまつりへむけて

しどう  
あゆまつりが始動しました!!!

きた がつ にち ど だい かい かいさい  
来る 10月7日(土)に第24回あゆまつりが開催されます!!!

とも

ことし  
今年のテーマは 「共に」 です。

かい き  
つばめの会のメンバーも決まり、

うちさぎょうはん かざ つく とく  
内作業班では飾り作りにみなさん取り組まれています。

ちいき みな いちねん いちど たの まつ  
地域の皆さんとつながる一年に一度の楽しいお祭りです。

おも も あ  
思いっきり盛り上がりましょう!!!



## 【施設長から】

平成29年度関東社会就労センター協議会研修大会開催要綱に関連して

地域の扉をたく活動に気づきたい

主任と一緒に開催のための実行委員会に参加している「平成29年度関東社会就労センター（関東セルブ）研修大会in神奈川」が来月6月29日・30日、横浜のホテルモントレで開催されます。「誰もが地域で役割を得て働ける社会を築く」とサブタイトルを付けた大会要綱では、昨年の7月に起きた「津久井やまゆり園」の事件に関連して、「私たちは、何故起きてしまったのかを問い、今一度、障害者権利条約の理念と込められた願いを直視し、障害福祉の歩みと、そこで発せられた自らの命についての本人の声を振り返り、「ともに生きる社会」の完全実現を目指して、それぞれの持ち場においても具体的な取り組みを行う必要があります。」と記載されています（何人かで修正を重ねたのでよくわからない文章になってしまったなど後悔はありますが）。

かつて、神奈川県で障害のある我が子に手をかけるという事件が起きてしまいました。そのとき、福祉関係者から起きた母親の減刑運動に対して、障害当事者が「自分たちは殺されても良い存在なのか」と世に問いました。その問いは今も発せられ続けていると考えるべきでしょう。ともに生きる社会、私たちの法人の理念である「障害のある人もない人も一緒に地域で生きる」社会を目指す歩みは、よりよく生きるという歩みだけではなく、その根底は障害のある人の命を守る歩みでもあるのだと思います。あの事件以来、外に出るのが怖いという当事者や家族の声を聞きま

す。犯行への共感、犯人への見えない共感に対峙するために、あらためてともに生きる社会への歩み、法人理念の実現への歩みを私たちは多摩川あゆ工房において、そこを中心とする事業部において、そして法人の活動においてすすめていく必要があると思っています。

では、ともに生きるとは何だろうか、それぞれの持ち場において具体的に一人一人の利用者の支援において職員が考

えていくことが必要です。上記の大会要綱はそれを問うています。地域で生きるとは、地域の通所施設で日中を過ごすこと（だけ）ではないのです。地域で生きるとは、地域のグループホームで夕方から朝までを過ごすこと（だけ）ではないのです。かつて「多摩川あゆ工房は地域でともに生きることを目指すと言うが、実際は地域から孤立しているではないか」と以前在職していた職員から問題提起されたことがあります。「登戸からタクシーに乗っても運転手が多摩川あゆ工房を知らない。地域の人も中で何やっているかわからない、どんな人が来ているのかわからない。

りようしゃ そうげいしゃ は そうげいしゃ かえ ちいき ひと せつ きかい りねん  
利用者は送迎車で運こばれ、送迎車で帰っていく。地域の人と接する機会などない。理念

じつげん なに かんばんだお ねんいじょうまえ  
を実現するために何もやっていない。看板倒れではないか。」と。もう10年以上前です

が、この問題提起は大事な意義を持っていたと思います。その後、多摩川あゆ工房は町会

の運動会に参加したり、地域の文化祭「福祉の集い」に参加したりすることになりました。

それは自分たちから地域の扉をたく行為だったと理解しています。

ひとりひとり りようしゃ たまがわ こうぼう せいかつ たの  
一人一人の利用者が多摩川あゆ工房の生活を楽んでもらえることはありがたいし、

ぜ ひ じかん おお も おも わたし りようしゃ  
是非そうした時間を多く持っていただきたいと思います。それとともに、私たちは利用者

がもっと地域の中での生活が広がるように、地域の扉をたくことを利用者とともに

実施していくことが必要だと考えています。そのためには職員が地域の扉をたくこ

との意義とそのあり方について理解していることが大事です。昼休みに何げなく買物に出

かけるHさん、言葉はなくてもレジでお金を払ってコーラを買ってきます。時々、お金が

足りませんとあゆ工房に電話がかかってくる、職員が不足分を払いに行きますが、彼は

自分の買物を通して地域の扉をたたいているのだと思っています。人によっては、他人に

迷惑をかける行為だから辞めた方が良いとか、職員が買ってきてあげれば良いだろうと

いうかも知れません。また、一人で出かけるため事故のリスクもあります。それらを知りつ

つも、彼は社会の扉をたたいているとその意義を考えられることが私たち職員の

資質として必要です。

働くことは、大体、社会の人と交わることになります。直接一緒に働くことにな

るか、製品を通して交わるようになります。報酬や代価が得られるときは、その活動や

製品が社会的評価を受けたと理解できます。しかし、施設内で働くことが多い場合や、

短い時間しか働くことができない場合は報酬・工賃・代価も小さくなります。こうい

う場合、大抵、「安定した楽しい生活ができるよう支援します」と支援計画書には書か

れます。それも良いです。しかし、報酬や代価が得られない場合でも社会的価値が高い

活動はあるものです。ともに生きる地域作りのため、地域の扉をたく活動の意義を多

くの利用者の日中活動の中に、生活の中に見出せれば良いと思います。彼らの活動の

中にその意義や価値を見出し、表現し、支援の課題として明確にする、その姿勢が私

たちには求められますし、そのような実践の積み重ねが大事だと思います。

来たるべき研修会でそのような内容を学べるかどうか、そのような研修会を準備で

きたかどうか。実行委員として問われます。自分たちの現場においても今後の職員研修

の内容として心がけていきたいと思っています。それが、その事件に対峙する現場での私

たちの姿勢だと思います。

# 新人職員の紹介

はじめまして、5月に「多摩川あゆ工房」に入職した向川 元晴です。プロフィールを簡単に紹介します。年齢は41歳です。出身は岩手県です。札幌の福祉系の専門学校卒業後、入所施設、就労継続B型の施設で仕事をしてきました。趣味はスポーツ観戦です。迫力ある相撲観戦が一番の楽しみです。

今年には海釣りにも挑戦したいと思っています。最後になりますが、法人の理念のもと、豊かな人生を共に送れる様に努めて行きたいと思っています。皆様、宜しくお願いします。



## うちさぎょうはん しょうかい 内作業班の紹介



内作業班では、職員と利用者さんを合わせて35名以上で機械部品の組み立て作業やチラシ折り、缶つぶし、パーティーグッズの袋入れなどを中心に内職作業を行っています。作業中は、時にはにぎやかにワイワイと作業に取り組んだりもします。

毎日、出来上がった製品を心込めて納品をさせて頂いています。お陰様で、様々な地域の企業様から沢山の受注を受ける事が出来ています。誠に、ありがとうございます。

あと、内職作業以外にも外作業班の方と一緒に草刈りや古紙回収、花壇の手入れなどにも参加しています。

これからも私たちは地域と共にいきる事を目指して作業参加や地域の方とのコミュニケーションを取って行きたいと思っています。これからも、どうぞ宜しくお願いします。

担当：鶴田



# わさびII開所しました！



昨年8月1日に第5番目となるグループホームが多摩区登戸新町に開所しました。

ホーム名は『わさびII』です。一昨年開所をした『わさび』と同様大家さんはホームの向かいにある新寿司さんです。わさびとわさびIIは隣接して建っています。パッと見るとどこかで繋がっているのでは？と思う



ぐらいの近さです。わさびIIは男性5名のホームです。

世話人さんが毎日泊って、利用者の方の支援を行い、夕方から夕食作りのパートの方が買物をして、みんなのリクエストに応じて調理をしていただき、温かい夕食を提供しています。

グループホームも5カ所目となり入居者も22名と増えてきました。どこかのホーム

で毎日何かおこなっていますが、楽しい毎日です。

今年度は事業所ができて初めてホームを開設しない年になります。ホームは増えませんが、今までおこなってきたことや支援の仕方などをスタッフで振り返る1年にしていきたいと思っています。

担当：鈴木





どようかいさいび おこな

## 土曜開催日が行われました！！

がつ か と きわ がつば なか こんねんどさいよ どようかいさいび おこな

5月6日(土)、爽やかな5月晴れの中、今年度最初の土曜開催日が行われました。

がいしゅつさかく や がしきょうしつ えいが も きかく  
外出企画に焼き菓子教室、映画にピアノ、カラオケなど、盛りだくさんの企画が行われ、

それぞれ分かれて楽しむことが出来ました。



けしき  
景色がとってもきれいな  
フルーツパークに  
行ってきました！



や がしきょうしつ  
焼き菓子教室では  
シュークリームと、マドレーヌを製作！

とっても美味しく  
出来上がりました！



ひ  
ホールでピアノを弾いたり  
おんがく  
カラオケをしたり、音楽も  
まんきつ  
満喫できました！



ひとりひとり えがお たの すがた み  
1人1人の笑顔と、楽しんでる姿をたくさん見かけることが出来ました。

さんか みな こんかい かいさいび ちゅう おも で  
参加された皆さんにとって、今回の開催日がゴールデンウィーク中の思い出の一つに

なっていたら嬉しいです。

じかい どようかいさいび がつ かいさいび よてい たの たんとう えじり  
さて、次回の土曜開催日は、9月に開催される予定です。ぜひ、お楽しみに！☆☆ 担当：江尻



はる しゅってん

## おひさま春まつりに出店してきました！！

がつ か にち こうぼうちか なかのしまちゅうおうこうえん ひ はる かいさい

5月14日(日)あゆ工房近くの中野島中央公園にておひさま春まつりが開催され、

こうぼう や がしはんばい しゅってん おこな どうじつ すこ かげ つよ はだむ くも  
あゆ工房からも焼き菓子販売で出店を行いました。当日は少し風が強く、肌寒い曇

ぞら てんき おお きやく あつ わだいこ えんそう もち  
り空の天気でしたが、多くのお客さんが集まり、和太鼓の演奏、ダンス、お餅つきな

たの  
ど楽しいイベントもありました。

とうじつ はは ひ かあ かお はは ひ

当日は「母の日」だったこともあり、お母さんの顔をモチーフにした「母の日クッキ

はんばい しょうがくせい おとこ こ かあ  
ー」を販売しました。小学生の男の子が「お母さんにプレゼントするんだ」ととて

うれ か もの いんしょうき  
も嬉しそうに買い物をしてくれたのが印象的でした。

とうじつ ふたり りようしゃ てつだ えがお はんばい

当日は二人の利用者さんがお手伝いをしてくれました！笑顔で販売がんば  
ってくれました！

たんとう なかざと  
担当：中里

